

2019年4月2日

ボストン・サイエンティフィック ジャパンの新代表取締役社長にスティーブン・モース氏が就任

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社（本社：東京都中野区、代表取締役社長：内木 祐介）は、2019年7月1日付で、現カーディオバスキュラー&リズムマネジメント 統括事業部長のスティーブン・モース氏が新代表取締役社長に就任することを発表した。現代表取締役社長の内木 祐介氏は、同日付で代表取締役会長に就任する。

内木 祐介氏は、2011年9月にボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社代表取締役社長に就任して以来、高成長に向けた事業構造の変革や数々の新テクノロジーの導入を進めてきた。日本市場に即した製品供給に向けた日本企業との技術連携、サプライチェーンの変革においては医療機器業界で初となる自動ロボット制御ピッキングシステムを導入するなど、経営モデルの最適化においても積極的な改革を行ってきた。会長に就任後は、新社長をサポートするとともに、各ステークホルダーとのより一層の信頼関係強化に努め、医療機器業界の更なる発展のために尽力していく。

スティーブン・モース氏は、ボストン・サイエンティフィックでの20年の職務において様々な役職を歴任し、2017年1月に日本に赴任する以前はリズムマネジメントビジネスのマーケティング部門のグローバル統括責任者を務めてきた。ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社での2年の在任中には、リズムマネジメント事業部長、カーディオバスキュラー&リズムマネジメント統括責任者として、不整脈・心不全治療領域、狭心症、心筋梗塞や末梢血管疾患など循環器領域全般を統括し、革新的なテクノロジーの日本市場への浸透に尽力してきた。

代表取締役社長に就任後は、内木氏が推進してきたビジネス変革を引き継ぎ、中長期での更なる成長の加速を推進していく。

以上